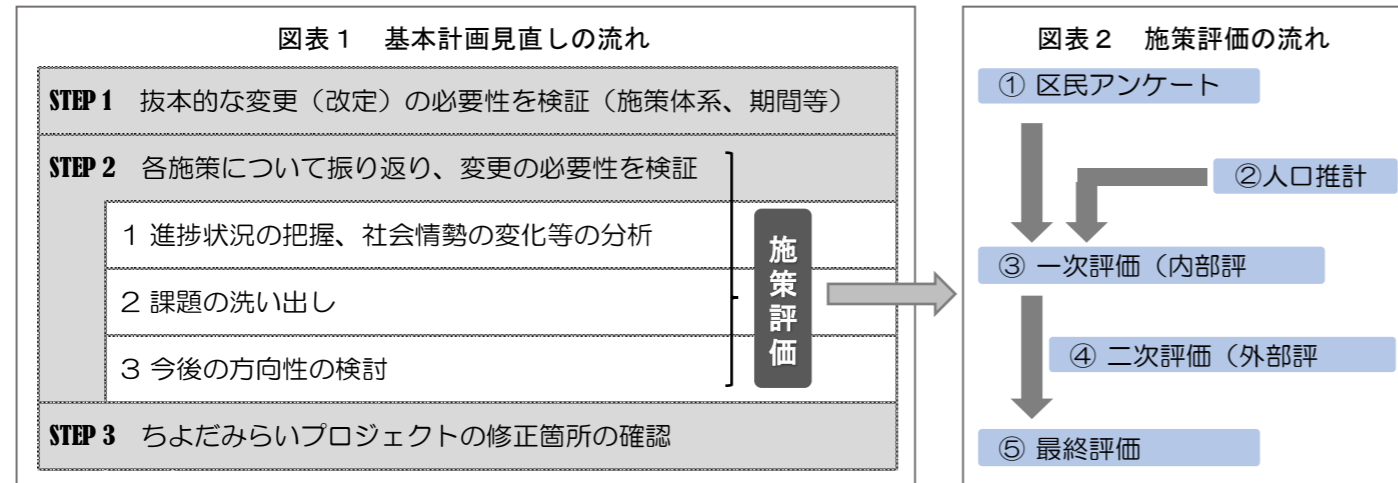


平成30年度・令和元年度 基本計画見直し及び施策評価実施報告書（概要版）

1 基本計画の見直しとは

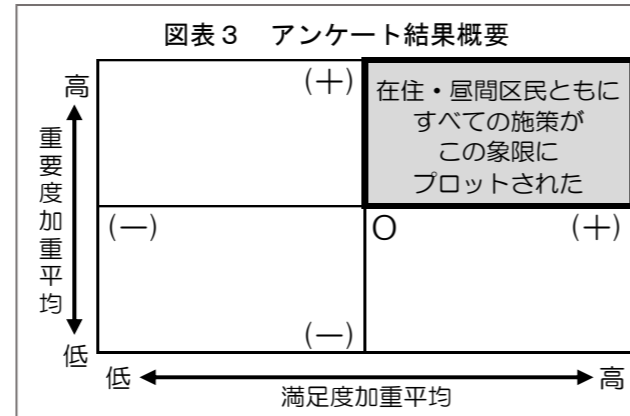
- 平成27年、千代田区第三次基本構想の実現に向け、区政課題を明らかにし、その解決の方向性を示す「ちよだみらいプロジェクト-千代田区第3次基本計画2015-」を策定
- 計画期間を10年としつつ、社会情勢の変化等に対応するため、5年を目途に見直すこととし、平成30年度から設置した庁内検討会で見直しを実施
- 基本構想の将来像等は現在も有効であること及び基本計画の骨格に影響のある社会情勢の変化はないことを踏まえ、抜本的な変更（改定）は行わない方向性を庁内検討会で確認
- 各施策の進捗状況や社会情勢の変化等を踏まえ、基本計画に示す課題認識や取組みの方向性等を変更する必要があるかを施策評価により検証



2 施策評価

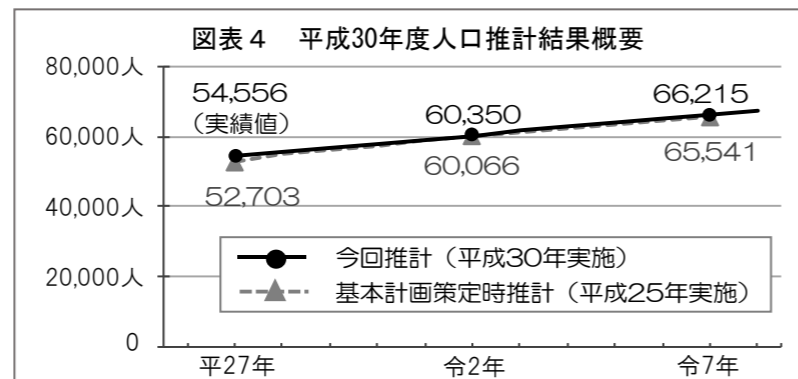
① 区民アンケート

- 区民の区政に対する満足度等を把握するため、在住・昼間区民を対象にアンケートを実施
- ⇒すべての施策について、「満足（やや満足含む）」と回答した者が、「不満（やや不満含む）」と回答した者を上回った。（重要度も同様の結果）
- ⇒多くの施策が、前回アンケート（平成28年度実施）に比べ満足度が上昇した。



② 人口推計

- 国勢調査など人口推計に必要なデータが更新されたことを踏まえ、人口推計を実施
- 平成27年国勢調査人口を基準人口として、コーホート要因法により推計
- ⇒基本計画策定時の人口推計と、傾向に大きな差異はなかった。

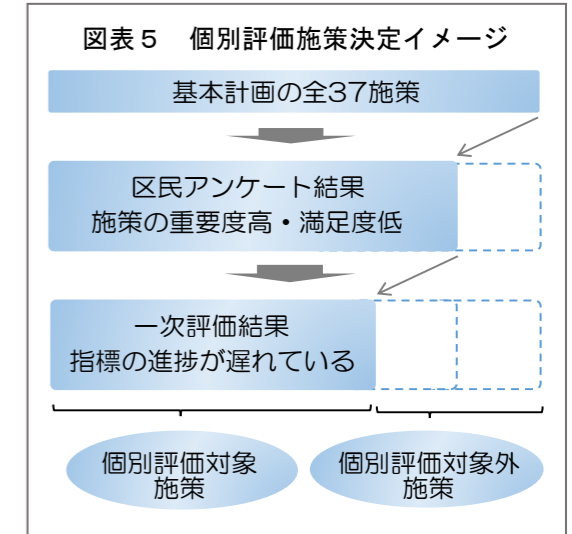


③ 一次評価（平成30年度）

- 基本計画の全37施策を対象に、行政内部で評価
- 指標の進捗状況や区民アンケート結果、社会情勢の変化、毎年度の事務事業評価等を踏まえ、基本計画変更の必要性の視点も含め、課題や今後の方向性を検討（施策評価シートを作成）

④ 二次評価（令和元年度）

- 学識経験者で構成する行政評価委員会による外部評価
- 全37施策を評価対象としつつ、区民アンケート結果及び指標の進捗状況を踏まえ、個別に時間を設け評価を行う施策を抽出
- 区の認識（施策評価シート）の妥当性を評価
 - ⇒社会情勢の変化等を踏まえた、基本計画の見直しにおける区の認識は概ね妥当という結果となった。
 - ⇒指標の妥当性や具体的な取組みの視点、進め方などに対する意見は、予算や執行体制の改善を図る際に有効に活用していく。



⑤ 最終評価

- 二次評価を踏まえ、必要に応じて区の認識（施策評価シート）を更新

3 見直し結果

5年間の振り返り、課題の洗い出し、今後の方向性

- 施策評価シートのとおり（施策評価で各施策の課題や今後の方向性を検証した結果）

基本計画の修正

- 施策評価シートを踏まえ、基本計画の内容を修正する必要があるかを検証
 - ⇒「課題解決の方向性」及び「主な取組み」について、社会情勢の変化等を踏まえた、視点の追加等を実施（「めざすべき10年後の姿」の修正はなし）
 - ⇒「指標」は、数値の取得が困難な場合などを除き、原則修正しないこととし、施策の進捗確認を補完するデータ（社会的背景や事業実績等）を必要に応じて設定

4 基本計画と行政評価の今後

基本計画

- 基本計画の計画期間である令和6年度までの残り5年間、毎年度の予算で見直しを踏まえた個別の取組みを示しながら、施策を一層推進

行政評価

- 引き続き、変化する社会情勢や区民ニーズを適切に捉え柔軟に対応していくため、PDCAサイクルをより効果的に回していく必要
- これまでの取組みを踏まえ、必要に応じて施策評価の再構築を検討

